

**C+**  
**Clastone**  
クラストン

人造大理石

今から40年以上前、  
トクラスが独自に開発・発売し  
ずっと愛され続けている  
人造大理石「クラストン」。  
ものづくりのこだわりをご紹介します。



キッチンには、長く使い続けるものだから、品質にこだわった“ものづくり”を続けています。

## 新しいキッチンの文化を築いてきた トクラスの人造大理石カウンター。

1976年。まだステンレス製の流し台が当たり前だった時代、トクラスは国産で初めてとなる「人造大理石カウンターキッチン」の製品化を実現しました。それが今につながる「クラストン」。発売以来、常に品質の改良を重ねながら高性能な製品を提供し続けています。

それは、「新しいキッチン文化を創りたい」という開発者の想いから始まり、今に続くプロジェクトです。数十年にわたって毎日使い続けるキッチンだからこそ、より清潔で快適に、そしてより楽しい場所であってほしい。「最良のキッチンカウンター」を追い求める歴史の中で、2002年には人造大理石製シンクを生み出し、今もなお、さらなる進化を続けています。

キッチンの中でも特にカウンターとシンクは、食材の下ごしらえから調理、洗い物まで行うメインステージです。だからこそトクラスは、素材そのものから独自に開発を行い、厳しい規格を設けることで高い品質を保ち続けています。丈夫でキレイな人造大理石製カウンターとシンクがキッチンの基本性能と考え、価格ランクにかかわらず、全シリーズに同品質のカウンター&シンクを搭載しています。

トクラスはこれからも新しいキッチン文化を創造すべく、お客様の声に耳を傾けながら、人造大理石をはじめとしたさまざまな素材や、一つひとつのパーツに改良を重ね、品質と快適性を高めてまいります。



1974年開発当初の人造大理石「ニューマーブルカウンター」。